

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111B014		図画工作科指導法(小) (Teaching Method in Drawing and Manual Arts(elementary school))							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部	後期	木2	日本語		単独						
担当教員	氏名 藤井康子													
	E-mail fujii-yasuko@oita-u.ac.jp 内線 7595													
授業の概要	学習指導要領が示す図画工作科の意義と役割を理解し、指導内容と指導方法、評価の観点から小学校の教員に求められる基礎的な知識・技能を身に付ける。図画工作科の「A表現」及び「B鑑賞」の教材研究と授業の構想を行い、学習指導案を作成する。最後に模擬授業を実践し、自ら構想した指導の内容と方法について検証する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 学習指導要領における図画工作科の目標及び内容を説明できる。								○						
目標2 図画工作科のA表現及びB鑑賞の学習指導案を作成できる。									○					
目標3 子どもの造形表現の一般的な発達段階と個性等を踏まえ、図画工作科の指導と評価の在り方を提案できる。									○					
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								3	5	2				
授業の内容														
1 図画工作科の目標と内容(学習指導要領の解説)														
2 子どもの造形表現にみられる一般的な発達段階														
3 「A表現」の学習指導と評価:造形遊び														
4 「A表現」の教材研究と学習指導案の作成 授業計画の構想(造形遊び)														
5 「A表現」の教材研究と学習指導案の作成 学習指導案の作成(造形遊び)														
6 「A表現」の教材研究(絵本づくり):絵に表す活動(教科横断)														
7 「A表現」の学習指導と評価:絵に表す活動														
8 「A表現」の学習指導と評価:立体に表す活動														
9 「A表現」の学習指導と評価:工作に表す活動														
10 他教科等との連携:教科等横断型学習における図画工作科														
11 「B鑑賞」の学習指導と評価														
12 「B鑑賞」の学習指導案の作成と教材研究 授業計画の構想														
13 「B鑑賞」の学習指導案の作成と教材研究 学習指導案の作成														
14 模擬授業の実施と振り返り														
15 図画工作科における評価と授業改善の工夫														
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認		○	各々の学生が学習指導案を作成する。模擬授業を通して指導内容と指導方法について検討する。			工 夫 そ の 他 の	学習指導案の作成に際しては簡単な実技演習を通した教材研究を行い、具体的な指導内容・方法を考えるようにする。						
	B:意見の表現・交換		○											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造		○											
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		各回の授業で取り上げる内容について、事前に学習指導要領と教師による配布資料で該当する範囲を読み予習しておくこと。(20h)											
	事後学修		学習指導要領との内容を読み深めるとともに、理解できないところがあれば教員に質問し、自らの具体的な指導のイメージを構築すること。 (25h)											
	想定時間合計		45											
教科書	・文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』、平成29年告示、ISBN978-4536590112。													
参考書	・国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【図画工作】』、令和2年3月、ISBN 978-4491041261。 ・山口喜雄・佐藤昌彦・奥村高明編集『小学校図画工作科教育法』建帛社、平成30年、ISBN 978-4767921136。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小課題		10%	○									
	教材研究・指導案作成への取り組み		40%		○	○							
	期末テスト		50%	○	○	○							
注意事項													
備考		模擬授業は全体の中から数人選出し、授業者として発表してもらう予定である。											
リンク													
		URL											